

おおづ 大津町 2

FEBRUARY 2023

大津町中央公民館



令和5年 大津町二十歳式

成人としての第一歩

今月の表紙

令和5年大津町二十歳式が1月8日、町文化ホールで行われました。今年から式典の名称を「大津町二十歳式」に変更し、二十歳になる新成人を対象に式典を行いました(詳しくはP2~P5)。

Public relations
OZU TOWN

広報 おおづ 2023 2

発行・編集 大津町・総合政策課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293)3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/> ※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物性インクを使用しています。

UD FONT 見やすくて読みもちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



1



2

①②高校1・2年生の時に出場した「全国商業高等学校英語スピーチコンテスト」では最優秀賞を受賞した村松さんとそのときのトロフィー

clozu-up
Ozu-jin
クローズアップ 大津人



負けず嫌いを強みに 目標を一つずつ達成するのが 自分のスタイル

むらまつ らいき
村松 来希さん(美咲野)

大津町二十歳式で「二十歳の誓い」をした村松来希さん。将来、英語の教師になるために大学で英語の勉強をしている。夢に向かって頑張る一人の新成人にクローズアップする。

「社会人になったら人前で話す機会が多いと思うので、今のうちに経験しておきたい」と話す二十歳式実行委員の村松さんは自ら「二十歳の誓い」に立候補した。元々、人見知りでも前では話すのは少し苦手だという村松さんだが、そんな自分を変えたかった。

村松さんは将来、英語の教師になるのが夢。もっとという母校である翔陽高校で教鞭をとることを目指して、現在、大学の外国語学部で勉強と経験を積むために学習塾のアルバイトを頑張っている。

英語を好きになったのは中学1年生の時。勉強をするうちに英語で話すことに興味を持った村松さんは、中学3年の時に初めて英語のスピーチ大会に出場。英語で話すことの楽しさを知った。「勉強した分だけ成績に現れやすいのが英語でした。日々の積み重ねが大事で、勉強するほど自分の英語力が上がっていくのが分かりました」とうれしそうに話す村松さんは英語を学ぶことに夢中だ。高校1・2年生の時に出場した英語のスピーチコンテストでは最優秀賞を受賞した。

「高校生の時、英語の先生に発音を指導してもらい、アドバイスしてくれる先生に憧れを抱きました」と村松さん。教師を志すきっかけとなった。生徒目線に立ち、英語を通じて勉強の楽しさを伝えられる先生になりたいと強く願う村松さんは、苦手を得意に変える努力を惜しまず、挑戦し続けている。

こゝの声

▼自治体広報紙のコンクール「県広報コンクール」で広報おおづが町村の部で佳作を受賞しました。取材にご協力いただいた住民の皆様、ありがとうございました。ご賞状をいただきました。ありがとうございます。広報おおづは住民の皆様への支えがなければ発行できません。今後もより読みやすく、楽しめる記事を増やしていきたいと思っておりますので、町民の皆様、撮影や取材にご協力お願いします▼成人式の名称が今年から変わり、初めての「二十歳式」が行われました。18・19・20歳を迎える新成人の皆様さん、おめでとうございます。堂々とあいさつをする村松さんは、自分の芯を強く持つことができました。一歩ずつ夢に向かう姿はかっこいいですね(50)



広報が読める
スマホアプリ
マチイロ